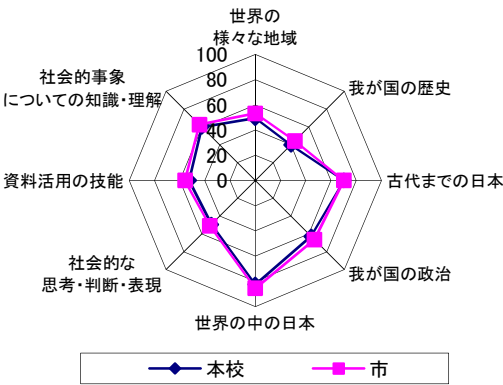


宇都宮市立瑞穂野中学校 第1学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	49.4	53.2
	我が国の歴史	40.0	44.3
	古代までの日本	70.4	70.2
	我が国の政治	62.6	66.3
	世界の中の日本	82.6	85.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	49.3	51.0
	資料活用・技能	52.4	55.8
	社会的な思考・判断・表現	60.0	62.7



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	正答率が市より4ポイント低い。基礎の能力は概ね良好であるが、各州の気候に関する問題について考える力や複数の資料から読み取る能力が市の平均を下回っている。応用力や活用の力に課題があると考えられる。	資料を通して各州の気候の特性、共通性をとらえていくことを重視しながら、空間的な理解を深めていくことが大切であるとする。資料から必要な情報を読み取り、考え、言語活動を通して表現する活動を重視したい。
	我が国の歴史	正答率が市より4ポイント低い。特に、第二次世界大戦以降の歴史の流れが市の平均を下回っている。	小6時に学習した範囲であり、十分な定着には至っていない。第二世界大戦は、中3時の学習内容になるが、これからの授業で繰り返し復習をし、基礎学力の定着を図りたい。
歴史	古代までの日本	概ね市の平均とほぼ同じである。基礎の能力は概ね良好であるが、複数の資料から読み取る、活用する能力が市の平均を下回っている。応用力や活用の力に課題があると考えられる。	授業から様々な資料から読み取る発問をし、応用力や活用の力をつけていきたい。また、プリントを活用するなどの教材開発を工夫しながら授業を展開するようにしたい。
	我が国の政治	正答率が市より3ポイント低い。基礎的な日本国憲法が範囲であったが、基礎的な学力が定着していない。	公民分野の範囲であるが、日頃から、新聞等を見るように呼び掛け、政治に関する興味関心を高め、学力の定着を図りたい。
公民	世界の中の日本	正答率が市より3ポイント低い。資料の読み取り、活用する能力が市の平均を下回っている。応用力や活用の力に課題があると考えられる。	世界の国々の文化についての興味関心を高めさせるような教材研究をし、応用力や活用の力につなげていきたい。